

令和4年度第3回上浦地域振興審議会

開催日 令和4年10月21日(金)19:00～

場 所 上浦振興局2F大会議室

【次 第】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 振興局長あいさつ

4 協議事項

(1) 第2次佐伯市総合計画（後期基本計画：地域活性化分野）の策
定について

(2) その他

5 閉 会

令和4年度第3回 上浦地域振興審議会委員名簿

【地域振興審議会委員】

任期：R3.6.1～R5.5.31

	氏 名	住 所	備考
会長	やま や たか ひこ 山 矢 隆 彦	上浦大字津井浦 1368 番地 10	
副会長	わに いし とも こ 鰐 石 朝 子	上浦大字津井浦 1400 番地 6	
委員	いけ だ けい 池 田 敬	上浦大字浅海井浦 342 番地 6	
委員	おお の ひと し 大 野 仁 士	上浦大字浅海井浦 657 番地 6	欠席
委員	オーウェンス ジョナサン ルイス	上浦大字浅海井浦 627 番地 1	欠席
委員	かわ の あ き 河 野 亜 紀	上浦大字浅海井浦 552 番地	
委員	さか もと もと こ 坂 本 素 子	上浦大字浅海井浦 658 番地	
委員	しら かわ なお き 白 川 尚 樹	上浦大字最勝海浦 4686 番地 1	
委員	の だ いく こ 野 田 郁 子	上浦大字最勝海浦 3738 番地 1	
委員	まつ した きょうこ 松 下 教 子	上浦大字浅海井浦 1745 番地 1	

【事務局】

	氏 名	役 職	備考
上浦振興局	み また さち こ 三 股 幸 子	振興局長兼地域振興課長	
	かん まさ はる 管 正 晴	総括主幹	

前期基本計画		後期計画（案）	備
<p>の景観が美しい、海洋を中心とした自然環境に恵まれた東西に細い見ヶ浦や瀬会公園、暁嵐の滝といった数々の名所など、海と山の。特に、豊後二見ヶ浦の注連縄張替えや初日の出は市内外から注連縄のワラが縁で竹田市荻町の人々との交流も続いています。完全に努めるとともに、特産品や観光資源の開発を進め、交流人口を図ることが重要です。最近マグロ養殖が水揚げ日本一になりつつ用が期待されます。</p> <p>齢化が進行し、人口は今後とも減少傾向が続くものと予測されます。深刻で、児童・生徒数が激減しています。高齢化や人口減に伴い、イベントや地域行事の開催、道路・水路の草刈り等の地域活動が困難になりつつあります。また、商店が減少し、食料品・日用品の購入が困難となり移動販売車が頼りの高齢者等の精神や海・山などの恵まれた自然環境を有効活用しながら、道図り、美しく清潔な町並みを創出し、魅力ある誰もが安心して暮らさなければならない地域があります。</p>	<p>時点修正</p>	<p>上浦地域は、リアス海岸の景観が美しい、海洋を中心とした自然環境に恵まれた東西に細長い海のみです。新しく遊歩道が整備された豊後二見ヶ浦や瀬会公園、暁嵐の滝といった数々の名所など、海と山の豊かな自然に恵まれています。特に、豊後二見ヶ浦の注連縄張替えや初日の出は市内外から多くの人が訪れます。また、注連縄のワラが縁で竹田市荻町の人々との交流も続いています。今後は豊かな自然の保全に努めるとともに、特産品や観光資源の開発を進め、交流人口を伸ばし、まちの活性化を図ることが重要です。最近マグロ養殖が水揚げ日本一になりつつあり、特産品としての活用が期待されます。</p> <p>しかし、本地域も少子高齢化が進行し、人口は今後とも減少傾向が続くものと予測されます。特に子育て世代の流出は深刻で、児童・生徒数が激減しています。高齢化や人口減に伴い、イベントや地域行事の開催、道路・水路の草刈り等の地域活動が困難になりつつあります。また、商店が減少し、食料品・日用品の購入が困難となり移動販売車が頼りの高齢者等が増えています。</p> <p>住民一人一人の助け合いの精神や海・山などの恵まれた自然環境を有効活用しながら、道路・公園などの環境美化を図り、美しく清潔な町並みを創出し、魅力ある誰もが安心して暮らせる地域づくりを行う必要があります。</p>	

前期基本計画	継続／修正／ 廃止／追加	後期計画（案）	理由（修正・廃止・追加）
<p>岸などの恵まれた自然環境資源を有効活用するとともに、花木の咲く地域をつくることにより、地域住民に憩いと誇りを持つまちから愛されるまちとなることを目指します。また、特産品開発を。</p>	<p>継続</p>	<p>ア 豊後二見ヶ浦や瀬会海岸などの恵まれた自然環境資源を有効活用するとともに、花木の植栽を進めます。きれいな花の咲く地域をつくることにより、地域住民に憩いと誇りを持ってもらい、地域を訪れる人々から愛されるまちとなることを目指します。また、特産品開発にも努め観光振興を図ります。</p>	
<p>美化を図ることによって、美しく清潔な町並みを創出していくこと。身近な生活環境の基盤整備を図ることによって、誰もが快適に安心して暮らさなければならない地域を目指します。</p>	<p>継続</p>	<p>イ 道路・公園などの環境美化を図ることによって、美しく清潔な町並みを創出していくことを目指します。また、身近な生活環境の基盤整備を図ることによって、誰もが快適に安心して暮らしていただける生活空間が形成される地域を目指します。</p>	

前期基本計画	継続／修正／ 廃止／追加	後期計画（案）	理由（修正・廃止・追加）
<p>観光振興</p>			
<p>ジャカランダ等花木の植樹</p>	<p>修正</p>	<p>(ア) 河津桜、ジャカランダ等花木の育成</p>	<p>河津桜、ジャカランダは植樹は厳しい。これまでいく。</p>
<p>再生</p>	<p>継続</p>	<p>(イ) 瀬会公園の桜の再生</p>	
<p>ルートの確立</p>	<p>継続</p>	<p>(ウ) 上浦へのお花見ルートの確立</p>	
<p>整備</p>	<p>継続</p>	<p>(エ) 観光ポイントの整備</p>	
<p>地域振興</p>	<p>継続</p>	<p>(オ) マグロを活用した地域振興</p>	
<p>入れてビーチバレー</p>	<p>廃止</p>		<p>瀬会海岸に砂を入れてビーチバレーは難しい。</p>
<p>安心空間の形成</p>			
<p>人の支援</p>	<p>継続</p>	<p>(ア) 地域の草刈り等への支援</p>	

第2次佐伯市総合計画（後期基本計画：地域活性化分野）の素案

マグロ養殖と花の咲くまち かみうら ～上浦地域～

1. 現状と課題

上浦地域は、リアス海岸の景観が美しい、海洋を中心とした自然環境に恵まれた東西に細長い海のまちです。豊後二見ヶ浦や瀬会公園、暁嵐の滝といった数々の名所など、海と山の豊かな自然に恵まれています。特に、豊後二見ヶ浦の注連縄張替えや初日の出は市内外から多くの人々が訪れます。また、注連縄のワラが縁で竹田市萩町の人々との交流も続いています。今後は豊かな自然の保全に努めるとともに、特産品や観光資源の開発を進め、交流人口を伸ばし、まちの活性化を図ることが重要です。最近ではマグロ養殖が水揚げ日本一になりつつあり、特産品としての活用が期待されます。

しかし、本地域も少子高齢化が進行し、人口は今後とも減少傾向が続くものと予測されます。特に子育て世代の流出は深刻で、児童・生徒数が激減しています。高齢化や人口減に伴い、イベントや地域行事の開催、道路・水路の草刈り等の地域活動が困難になりつつあります。また、商店が減少し、食料品・日用品の購入が困難となり移動販売車が頼りの高齢者等が増えています。

住民一人一人の助け合いの精神や海・山などの恵まれた自然環境を有効活用しながら、道路・公園などの環境美化を図り、美しく清潔な町並みを創出し、魅力ある誰もが安心して暮らせる地域づくりを行う必要があります。

2. これからの基本方針

ア 豊後二見ヶ浦や瀬会海岸などの恵まれた自然環境資源を有効活用するとともに、花木の植栽を進めます。きれいな花の咲く地域をつくることにより、地域住民に憩いと誇りを持ってもらい、地域を訪れる人々から愛されるまちとなることを目指します。また、特産品開発にも努め観光振興を図ります。

イ 道路・公園などの環境美化を図ることによって、美しく清潔な町並みを創出していくことを目指します。また、身近な生活環境の基盤整備を図ることによって、誰もが快適に安心して暮らしていける生活空間が形成される地域を目指します。

3. 主な取組

ア 花の咲く地域づくりと観光振興

(ア) 河津桜、ジャカランダ等花木の育成

(イ) 瀬会公園の桜の再生

(ウ) 上浦へのお花見ルートの確立

(エ) 観光ポイントの整備

(オ) マグロを活用した地域振興

イ 美しい町並みと快適・安心空間の形成

(ア) 地域の草刈り等への支援

(イ) 県道改良と越波対策

(ウ) 地域の医療体制の充実

(エ) 高齢者の移動手段の確保と支援

- (オ) 移動販売の活用と買い物支援
- (カ) 子どもたちの各種体験支援
- (キ) 新たなコミュニティ組織づくりの推進

4. 重点プロジェクト

花の咲く上浦づくり

四浦半島の河津桜（開花：2月）は津久見市側の活動により有名になり、多くの観光客が訪れています。上浦側の河津桜の観光スポットとして、にいなめフラワーパーク（旧最勝海浦小中学校グラウンド）をメインに植樹することにより、四浦半島全体を河津桜の名所とし、観光客の流れを作ります。また、世界3大花木のひとつであり、青い桜とも呼ばれるジャカランダ（開花：5～6月）や瀬会公園の桜等、既設の花木の活性化を図り、地域住民の憩いの場、交流人口の増加・地域の活性化の手段とします。

生本マグロの活用

上浦には本マグロの養殖を行っている会社があり、主に関東方面に出荷しています。また、新たに出荷を始める会社もあり、上浦産本マグロの水揚げは日本のトップクラスになりつつあります。しかし、このことは広く認知されてはいません。上浦産生本マグロの存在と美味しさをアピールしながら知名度を上げるとともに、マグロ料理を提供する拠点づくりを進め、交流人口の増加・地域の活性化を目指します。

5. 目標指標

目標内容	基準値 令和3年度（2021年度）	目標値 令和9年度（2027年度）
観光等客数の増加	63,143	73,000